

自動火災報知設備受信機 劣化診断報告書

P型(電子)用
EXCEL操作手順書

2008年 10月
パナソニック電工株式会社
HA・セキュリティ事業部

0.ファイルの開き方



「P型(電子)受信機劣化診断チェックシート(Ver1.0).xls」のファイルをWクリックして開いて下さい。

・シートの保存について

[ファイル] [名前を付けて保存]を選択して 新しい名前を付けてシートを保存して下さい。
この原本シートは『読みとり専用』になっていますので同じ名前では保存はできません。

1.起動時の画面とシート構成

Microsoft Excel - P型(電子)受信機劣化診断チェックシート[Ver1.0].xls

1. 診断項目区分 診断内容 判定結果
良 否 備考

測定	受信機・主中继器設置場所の温度、湿度が使用範囲内であること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
外観	受信機は常時人のいる場所に設置され、使用上及び点検上必要な空間が確保されていること。 受信機・主中继器の周囲は空隙、埃、風による支障がないこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

2. 診断項目区分 診断内容 判定結果
該当せず 良 否 備考

平常状態の確認	表示灯の点灯状態、スイッチの位置及び印字結果等が適正であること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
回路導通試験	回路導通試験を行い、断線検出機能が正常で、かつ全回線に断線がないこと。 (回路導通試験装置のあるものに限る。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	火災表示試験を行い、火災灯、地区表示装置の点灯及び音響装置の鳴動並びに自己保持機能が正常であること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
火災表示試験	部数に応じて複数の場合は、任意の回線の同時作動試験を行う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

1.チェック

2.チェック

3.チェック

4.チェック

5.報告書

6.判定結果

左記の6シート(表紙は除く)で構成されています。

・各シートの入力については、次頁以降の操作説明書を参照して下さい。

2. チェック のシート について

P型（電子）受信機劣化診断チェックシート

該当する項目をクリックして下さい。
印がつき自動的に数をカウントします。

診断項目	区分	診断内容	判定結果	備考	
設置環境確認	測定	受信機・主中继器設置場所の温度、湿度が使用範囲内であること。	良 <input type="radio"/>	否 <input type="radio"/>	
	外観	受信機は常時人のいる場所に設置され、使用上及び点検上必要な空間が確保されていること。	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	
		受信機・主中继器の周囲は空調、床、壁による支障が無いこと。	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	
受信機基本機能確認	外観	表示灯の点灯状態、スイッチの位置及び印字結果等が適正であること。	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	
		回路導通試験	回路導通試験を行い、断線検出機能が正常で、かつ全回線に断線がないこと。 (回路導通試験装置のあるものに限る。)	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>
	火災表示試験	火災表示試験を行い、火災灯、地区表示装置の点灯及び主音響装置の鳴動並びに自己保持機能が正常であること。	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	
			P型（電子）の場合は、任意の5回線の同時作動試験を行う。	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>

・判定結果の入力について

各診断箇所の判定結果欄にあるボタンをクリックして下さい。
クリックして黒丸が付いた項目が選択された状態になります。

このボタンをクリックすることにより診断結果の点数が自動的に計算されます。

注) チェックマークも同様の入力方法です。

3.報告書のシートについて

Microsoft Excel - P型(電子)受信機劣化診断チェックシート【Ver1.0】.xls

パナソニック電工 自動火災報知設備受信機 劣化診断報告書(R型、P型(電子))															整理番号	
対象設備	設置物件名	所在地														
	設置場所	設置環境 (半屋外・屋内)・(高温・多湿)														
劣化診断	型名	型式名	受第	~	~	号										
	製造年	設置後年数	年	会者												
実施者	所屬会社	所在地														
	担当者氏名	所有資格	甲種4類消防設備士番号:	自動火災報知設備受信機 劣化診断実施者登録番号:												
化 診 断 結 果																
劣化診断の結果は下記の 箇所に記入して下さい。判定結果の シートに反映されます。																
所見 (補修部品の保有 状況等含む)																
備考																右記製造年度のニッケルカドミウム蓄電池が設置されており交換が必要です。 (取替時期の目安は5年から6年です。)

欄は直接
入力してください。

■の欄を直接入力してください。

- ・ 設置後年数は最終シートの判定結果の点数に反映されますので
必ず数字を入力してください。

10年 10

15年 15

- ・ 所見欄のコメントは「判定結果」シートの結果を参考に記入してください。

4.判定結果

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "★P型(電子)受信機劣化診断チェックシート.xls". The main table is titled "判定結果(診断結果)" and contains the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	判定結果(診断結果)														
2	=	0	×	3点	+	0	×	5点	+	0	×	1点	+	-10	
3															
4															
5	=	-10	点												
6															
7	突然的な要因を除き、今すぐ故障を生じる可能性は少ないと思われますが 今後摩耗により故障増大の可能性がありますので、早めに設備更新のご計画をお願い致します。 又、部品メーカーの生産中止等により故障した場合でも修理できないことがあります。														
8	この欄に自動的に 診断結果が表示されます。														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															

A callout bubble points from cell F3 to the text in row 7. The text in the bubble is:
この欄に自動的に
診断結果が表示されます。

The status bar at the bottom shows "NUM" and "COMMAND".

判定結果により、所見の記入例を表示します。
このコメントを参考にして頂き、報告書の所見欄に記入してください。

5.最終結果

Microsoft Excel - P型(電子)受信機劣化診断チェックシート【Ver1.0】.xls

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
2	パナソニック電工 自動火災報知設備受信機 劣化診断報告書(R型、P型(電子))																		
3																			
4	対象設備 設置物件名						所在地												
5	設置場所						設置環境	(半屋外・屋内)	・	(高温・多湿)									
6	型名						型式名		受第	～	～号								
7	製造年			設置後年数		年	立会者												
8	劣化診断	所屬会社					所在地												
9	実施者	担当者氏名					所有資格	甲種4類消防設備士番号:	自動火災報知設備受信機										
10	劣化診断結果																		
11																			
12	劣化診断の結果は下記の通りです。																		
13	尚、詳細及び補修部品の保有状況については、別紙劣化診断チェックをご参照下さい。																		
14																			
15																			
16																			
17	所見																		
18	(補修部品の保有 状況等含む)																		
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24	備考	右記製造年度のニッケルカドミウム蓄電池が設置されており交換が必要です。 (取替時期の目安は5年から6年です。)																	
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			

*診断結果を確認していただき、印刷をします。

ご使用のプリンタによって印刷状態が異なりますので、微調整をお願いします。